

# 近畿大学

〒577

東大阪市小若江3丁目4番1号

電話(06)721-2332

2002. 3. 25

平岩 外四様

柴田 俊一

このたび 私の近畿大学原子力研究所長退任の記念式にあたり、お心づかいを賜わりありがとうございます。15年前の夏 長計部会の打上げパーティーの際 中学・高校の教員を対象に原子炉の実験を体験させるという計画に即座にご賛同いただき、大きなご支援を賜わることになりました。ついでこの向うように思い出しております。

この実験研修は各方面でご好評をいただき、少しずつ工夫、改善を加えながら発展して参りました。しかし残念ながら当初私自身、に描いておりました成果はなかなか得られなかったことを実感するようになりしました。理由の一つとして、分かりましたことは中学高校の先生は、校長、教育委員会、保護者などの意向もあって、私達が考えては程自由な活動が

できない、という実態でした。そこで、これに対しては先生を主な対象とはせず、生徒を何人か同伴してもらって、彼等に適当な形により、体験させることを考えました。数年前から数回この形式の体験会を試行していますが、この方が遙かに強い反応が感じられ、確かな効果があると感じました。生徒の感想文に「柴田先生のお話を世の愚かな大人どもに聞かせたい」という激しい意見まで出る位です。

残念ながら本年3月末をもって退任・退職の通告を受けましたので、これまで通りに続けることは無理ですが、実は退職後もこの研修だけには同じ方針、手法で続けるつもりでおいりました。しかし、責任者の立場を離れた者がある種のリスクを伴う思い切った考案を基に、正しいと思う指示を下すわけには参りません。所員の気持ちも急激に消極的になりました。自らの手本を示して指導するという形は望めなくなりました。止むを得ず、一人この実験・研修は中断するのが

適当と判断いたしました。

勿論、もし何らかの別の形での機会が得られれば  
同様の研修は必要、有効と考えておりますので改めて  
取り組みたいと考えております。

いすね様貴の機会に、微妙な、詳細事情を  
ご報告いたしたく存じますが、とりあえず、書面を  
もって、御報告、ご了承をお願いし、言葉に表し  
ない広い範囲でのご支援に対して心からお礼を  
申し上げます次第です。

敬具

## 第8回

# 原子炉実験・専門研修会

## 参加者感想文集

自 平成14年1月31日

至 平成14年2月 1日

近畿大学原子力研究所

